

令和8年度 市政執行方針

政策担当 ☎ 72・3644



▲市政執行方針
全文



石狩市長
加藤龍幸

2/19開会の市議会定例会で、加藤市長が令和8年度の市政運営の基本方針を示す「市政執行方針」について説明しました。

はじめに

本市の物価高対策として、速やかに市民や事業者の支援を行うため、昨年12月補正予算により、プレミアム付商品券の発行、水道の基本料金4カ月無償化、保育施設などや地域公共交通事業者への支援など20項目の事業を実施します。

令和8年度一般会計予算の総額は388億円で、前年度比2.3%減となりましたが、令和7年度当初予算の特殊要素であるホテル開業に伴う貸付金を除くと、前年度比2.0%増（7億5千万円増）となります。

市税収入は個人市民税、固定資産税などの増により107億円を超え、7年連続で過去最大を更新します。

引き続き、市民サービスの向上と健全財政の保持を念頭に、持続可能な市政運営に当たってまいります。

1 子どもまんなか まちづくり

こどもの権利の保障、子育て支援、ひとり親家庭支援、教育施策を充実させ、子どもまんなかまちづくりを推進します。

- こどもの権利を保障するため、普及啓発や権利救済、意見表明参加などの取り組みを実施します。
- 4月、浜益に小中一貫教育を行う義務教育学校と保育園を併設した総合的な教育・保育施設を開設します。
- はまます保育園を小規模保育事業所に移行し、0歳児保育を開始するなど保育の充実を図ります。
- 児童福祉機能と母子保健機能を統合したこども家庭センターを開設し、支援の相乗効果を高めます。
- 3歳未満の未就園児を対象とする「こども誰でも通園制度」は、受け入れる認定こども園を拡大して本格実施します。
- 厚田・浜益でこどもの健全育成を図るため、地域住民が担い手となる子どもの居場所を整備・運営します。
- 訪問看護の自己負担を新たに無償化し、子ども医療費助成制度を拡充します。
- 児童扶養手当受給者を対象に、所得向上や生活改善に向けたセミナーを実施し、ひとり親家庭を支援します。
- 校舎・体育館の改修、中学校や公民館の冷房設備の整備、不登校児童生徒支援の充実、小学校給食費を無償とすることなどを進めます。

2 脱炭素で拓く 地域創生

地域の脱炭素化を実現し、脱炭素を地域の新たな付加価値とした産業集積を図り、活力ある地域社会を形成します。

- 「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律」に基づき、2月6日に「北海道石狩市沖における協議会」が組織されました。本市も参画し、漁業との共存や再エネの地域活用、産業振興など地域の将来像について広範な議論を重ねます。
- 石狩市沖の洋上風力発電事業は長期で多岐にわたる、地元企業にとって大きなビジネスチャンスが期待されます。参入に向け、関連産業とのマッチングや情報発信などを支援します。
- 市役所本庁舎など周辺5つの公共施設に、太陽光発電設備を設置して自家消費し、不足分も市内再エネを活用する「再エネの地産地活」を進め、各施設が利用する電力分のCO₂排出量をゼロにします。
- うち3施設間に自管線と蓄電池を整備し、施設間の電力融通を可能とするマイクログリッドを構築することで、再エネの有効活用と停電時のエネルギー供給の強靱化（きょうじんか）につなげます。
- 再エネの地産地活や地域のエネルギーマネジメントなどを目的としたプラットフォームとしての事業展開を視野に、石狩地域エネルギー合同会社へ参画しており、同社の役割や課題を整理し、地産地活の高度化に向けた検討を進めます。

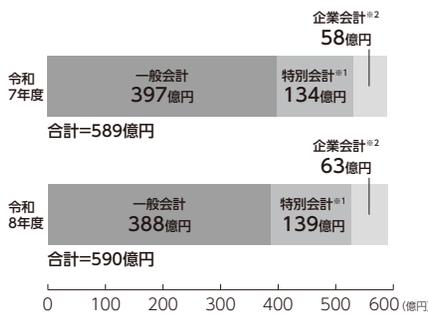
令和8年度 当初予算の概要

☎ 財政課 72・3154

市制施行30年の節目を迎え、 まちの持続性向上と 新しい石狩の未来を創る 第一歩とする「未来始動予算」

令和8年度予算は、こどもまんなかまちづくり、脱炭素で拓く地域創生、自治体DXによる行政サービス改革を主要施策の柱としたほか、令和7年度補正予算との一体化を図り、市民生活や地域経済を切れ目なく下支えるために必要な予算を編成しました。

会計別の予算規模

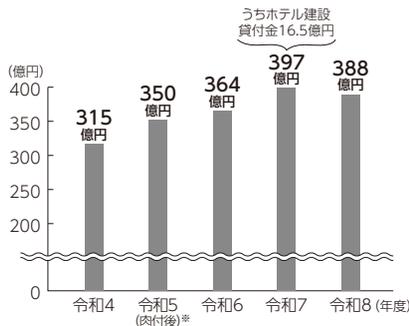


※1 特別会計:国民健康保険事業、国民健康保険診療所、後期高齢者医療、介護保険事業、介護サービス事業の5会計
 ※2 企業会計:水道事業、下水道事業の2会計

一般会計の予算額は 前年度比マイナス2.3%

一般会計の予算額は388億円で、前年度比2.3%の減となりました。なお、令和7年度における市内への新たなホテル建設に伴う貸付金を除いた比較では、前年度比2.0%の増となります。また、特別会計や企業会計を加えた総額では0.1%の増となりました。

一般会計予算規模の推移(当初予算)



※ 肉付後:令和5年5月に行われた市長・市議会議員選挙後の補正予算(政策予算)を加えた予算額

詳細は市HP

「[財政資料室\(予算・決算\)](#)」で
ご覧いただけます。

3 自治体DXによる 行政サービス改革

行政サービスの利便性向上と業務の効率化を同時に進め、DXによる行政サービス改革を順次進めます。

- 市役所の来庁者が申請書類を記載する際の負担軽減を図るため、必要な仕組みや運用方法、庁内体制を確立し、各種証明書の発行や届け出などを円滑に行える「書かない窓口」を導入します。
- 行政機関が保有するデータを複数のシステムで利用可能にする情報連携基盤を整備し、支援を必要とする方へ必要な情報が届く行政サービスを確立します。
- 市からのプッシュ型通知を活用し、対象者に案内・給付情報を個別にお知らせし、申請の手間軽減や見落とし防止につなげます。プッシュ型通知の対象項目も拡大します。

4 まちなかふれあい 拠点づくり

ふれあい拠点施設の実現に向けて取り組みを進めます。

- 市役所本庁舎周辺のふれあい拠点施設について、新たな市民のふれあいや交流を生み出す都市機能として求められるのは文化ホールであり、これを軸に検討を進めます。適切な事業規模、事業費・財源などを検討し、内容を取りまとめ、基本構想を策定します。今後も市教育委員会などと連携し、広く市民の声を聴くとともに、文化団体など関係者との議論を深めます。

5 次世代へ続く 地域社会

多様化する行政ニーズや地域課題に柔軟に対応し、次世代へ続く地域社会の形成を図ります。

- 第5期石狩市総合計画の期間が最終年度となるため、「協働」の理念を念頭に、市民との対話を通じて、第6期石狩市総合計画を策定します。
- 市制施行30周年に当たり、記念事業の実施や各種イベントとの連携を通じて、市政のさらなる発展と未来への継承につなげます。
- がん患者の社会生活と治療の両立を支援し、療養生活の質の向上を図るため、治療による外見変化に対応する補整具などの購入費を助成します。

